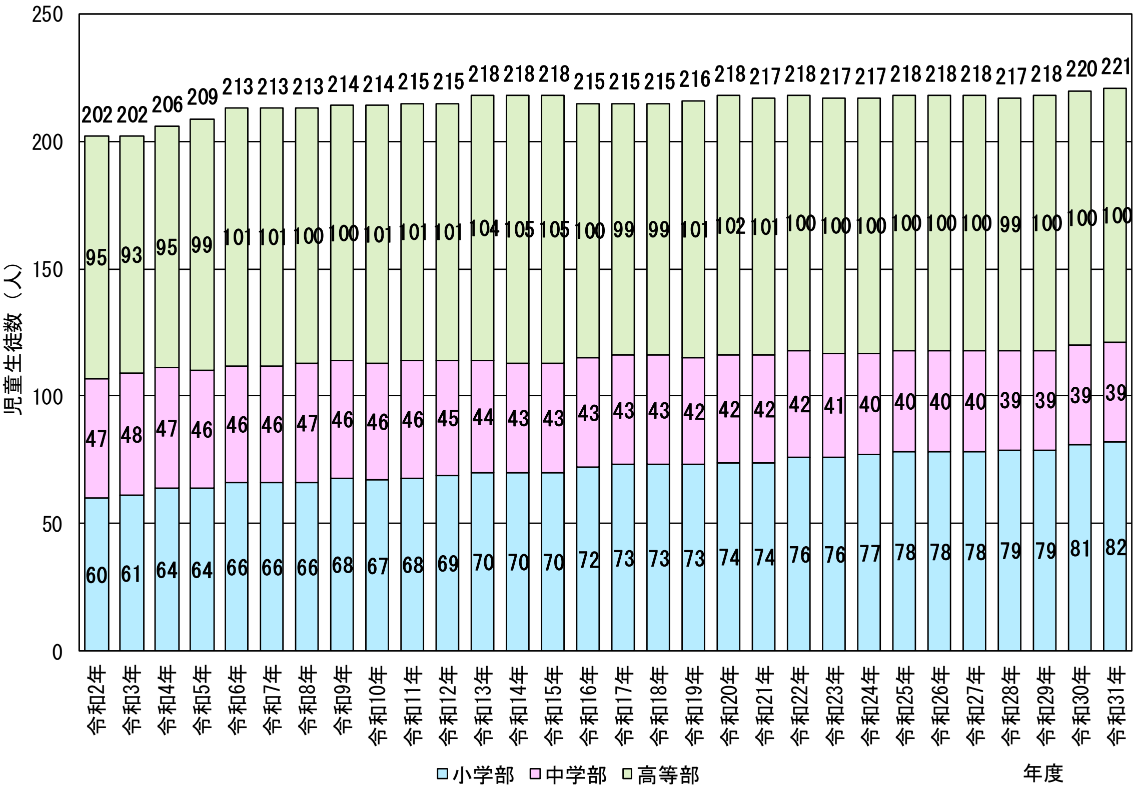
資料③

●児童生徒数の規模の推計

設置する学校の規模を想定するにあたり、特別支援学校に在籍する本市在住の児童生徒数（視覚障がい者及び聴覚障がい者を除く）に対し、全国的な増加傾向を加味して、将来の特別支援学校の在籍者数を推計した。

今後、年少人口の減少傾向に対し、これまでの特別支援学校への在籍率の増加傾向が続くと仮定した場合、今後 30 年は最大で 220 人前後で推移する結果となった。



※視覚障がい者及び聴覚障がい者を除く

■各務原市における特別支援教育が必要な児童生徒数の推計